

平成25年2月1日

関係各位

公益財団法人 発達科学研究教育センター
理事長 新庄 茂方

平成25年度発達科学教育奨励賞―学術研究の部―の募集

公益財団法人 発達科学研究教育センター では若手研究者を対象とした平成25年度の研究助成事業である発達科学教育奨励賞―学術研究の部―を下記要領で募集致します。

対象となる研究テーマ

・ 幼少期の子どもの可能性を引き出し、心身の調和のとれた発達をはかることを主たる研究テーマとするもの。

応募資格

- ・ 同一の研究機関に属する個人、または数人の共同研究。
- ・ 平成25年4月1日現在40歳以下で、准教授職以下の方。
- ・ 所属研究機関の代表者または指導教授の推薦が必要です。

研究助成金

- ・ 1件当たり50万円を上限。10件位を予定。

募集期間

- ・ 平成25年4月1日～平成25年5月31日

応募必要書類

- ・ 研究計画書、推薦書など。
(詳細は、本財団ホームページ(<http://www.coder.or.jp>)をご参照下さい。)

参考（平成24年度受賞の研究テーマ：12件）

- ・母子身体接触遊びのマルチモーダルな時系列構造の分析
- ・育てにくさを感じている親に対するペアレンティングの効果
- ・神経心理学的機能の向上が発達障害に特有な認知行動的課題の改善に及ぼす影響
- ・自閉症スペクトラム障害児のセルフ・モニタリングの行動調整機能に関する研究
- ・乳児におけるモノの動きと同期するラベルの解釈
 - －文法的手がかりのもとでのマッピング－
- ・発達障害児の母親と支援者間をつなぐ ICT を用いた交換日記帳システム
 - ～日々の協働から育むペアレントトレーニングを目指して～
- ・乳児の母親が行う調律的応答の個人差要因の検討
- ・指さしの起源と発達経路の解明：1歳から2歳までの縦断的研究
- ・高機能自閉症児の自己理解の特性と他者との調整機能の関連
- ・多機関・多職種連携型事例検討における対人援助専門職の心理的变化に関する予備的検討
 - －高齢者入所施設での実践から－
- ・遺伝子多型が母子間視線コミュニケーションに与える影響の解明
- ・被排斥者への共感による心理的痛みの伝染

以上